

松山中学・松山東高同窓会
関東支部 会員各位

平成21年7月18日
支部長 豊島吉博

お礼をこめて（退任のあいさつ）

拝啓 盛夏の候、各位ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、同窓会活動にご協力を賜りありがとうございます。

さて、7月18日の総会をもちまして、任期満了（2期4年）で支部長を退任させていただくことになりました。2005年（平成17年）6月18日の総会で、第3代目の支部長に就任してから4年間の任期を、無事全うできたのも、各位の温かいご理解とご協力の賜物だと厚くお礼申し上げます。

任期中、関東支部と各位の発展になればと、「時代と世代を越えて、松中・松東の伝統を受け継ぎ、会員同士の交流と発展に尽くす」を、コンセプトに、「われら“坊っちゃん マドンナ”ぞなもし」をスローガンとして、会員にわかりやすい組織、気配りのある運営をと愚直に活動してまいりました。

役員・学年幹事の方々と激論を交わしながら同窓会組織と会費の性格の明確化をさせていただきました。ホームページの開設、関東明教の充実、悲願の総会出席者300人越え、わかりやすい組織運営、青柳の挿し木、本館黑板配布など、各位に喜んでいただける成果を挙げることができました。

また、去年は母校創立130周年に対し、記念事業の募金にも協力することができました。改めて感謝いたします。

一方、目標としていた各年代男女幹事作り、若年層の取り込みや、会費納入者増は達成できず、次期執行部に課題として残してしまいました。

この間、母校では、樹齢90年の青柳が伐採、本館・体育館が解体されるなど、大きく変化しました。形あるものは、いつかは無くなるのが、世の習い。長い歴史の上では、仕方のないことかもしれません。とはいえ、各位が其々に青春を過した思いはまさに“永遠”だと思います。

わが母校は130年、多くの同窓が切り開き、築き、紡いできた全国屈指の名門校です。伝統の承継者たる“現代の坊っちゃん・マドンナ”の私たちが、矜持をもって、歴史は引き継ぎ、また新しい歴史を創っていかねばならないのではないかと思います。

最後になりましたが、本当にありがとうございます。私は退任させていただきますが、次期執行部を含め、同窓会活動に今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具